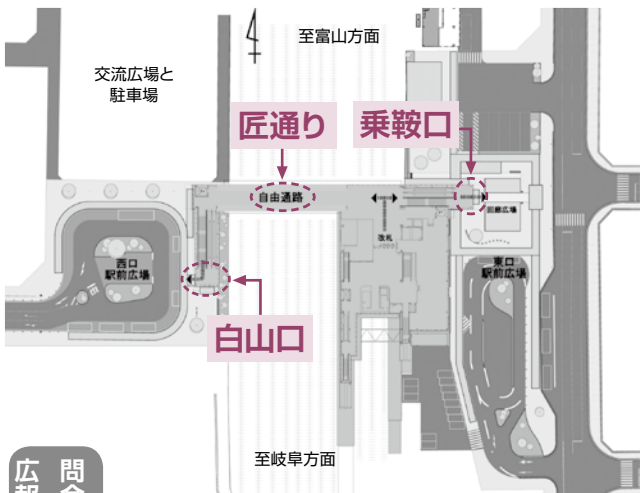


JR高山駅の東西出入口・自由通路の愛称が決定しました

JR高山駅の東西出入口・自由通路愛称募集につきましては、東口260件、西口249件、自由通路270件と多くの愛称を応募いただきました。選考の結果、愛称が次のとおり決定しました。

東口 乗鞍のりくら
西口 白山はくさんくち
自由通路 匠通りたくみどお

愛称は、高山駅周辺地区まわりの協賛委員会、地元町内会や商店街の代表、高山駅長など



による「愛称募集審査委員会」により選考された優秀作品を受け、市長が決定しました。

東口には市民憲章にも謳われている「乗鞍」が東側の象徴として、西口は平成の大合併を経て誕生した高山市の西端に位置する「白山」が象徴としてそれぞれ選ばれました。乗鞍と白山はともに日本百名山に名を連ねており、日本中や世界中から訪れる観光客の皆さんにも親しんでもらえると思います。

また、数々の「匠の技」が展示される自由通路の愛称は、高山の伝統文化薫る場所の象徴として「匠通り」が選ばれました。

愛称採用者につきましては、今秋開催する自由通路完成式典にて表彰させていただきます。たくさんのご応募ありがとうございます。

問合先 駅周辺整備課
 35-3180
 1007023

慢性腎臓病(CKD)を知っていますか

「新たな国民病」慢性腎臓病(CKD)を予防しましょう

慢性腎臓病(Chronic Kidney Disease: CKD)。ふだんはあまり耳にしません。患者数は近年増え続け、成人の8人に1人がこの状態ともいわれ、新たな国民病と言われています。進行し、腎機能が低下してしまうと生命や生活の質に重大な影響を与えます。

CKDは、次のいずれかが3カ月以上続く場合をいいます。

- ①尿検査の異常(蛋白・潜血)や、腎障害を示す所見がある
- ②腎機能(GFR)が、60ml/min / 1.73m²未満(※)

※血清クレアチニン(血液検査)の値、年齢、性別から算出する値で、高山市特定健康診

査、健康診査では、健診項目に含まれています。

症状

初期には自覚症状はほとんどありません。夜間の尿回数が増える、むくみ、貧血、疲れやすい、などの症状は、すでにCKDがかなり進行している場合に現われます。そのため、無自覚のうちに発見することが重要です。

CKDは、放置すると、人工透析や腎移植が必要な末期腎不全になるばかりでなく、心筋梗塞などの心血管疾患や脳血管疾患の発症リスクが高まることわかっています。



原因

生活習慣病、特に糖尿病や高血圧が重大な危険因子となります。他にも、脂質異常症、高尿酸血症、肥満、そして塩分過剰摂取や喫煙といった生活習慣との関

連が深いのが特徴です。そのため誰でも罹患する可能性があります。



予防「生活習慣病の予防

ご自身の血圧値や血糖値、コレステロール値はご存じですか。

1年に1回は加入している医療保険者が行う健康診査を受診し、生活習慣病が知らぬ間に発症していないかを確認することが大切です。すでに高血圧、糖尿病などで治療の方は、かかりつけ医での適切な治療の継続がCKDの予防につながります。

市では、腎臓病に関する正しい知識を持っていただき、早期発見とその後の適切な治療によって重症化を予防していきたいと考えています。1年に1回は健診を受けましょう。

問合先 健康推進課
 35-3160